

アニメ制作支援素材集
「せんぷうき」
オートアクション解説マニュアル

Prepared by: Takahiro Kawakoshi

2017年3月11日

Number: 1.0.0

せんぷうき オートアクション解説マニュアル

SNPKショートカットアクション

このアクションはショートカットキーに割り当てると便利なんじゃないか？というアクションがまとまっています。アクション名の横のショートカットは始めは割り当てられていないので、よく使うなあ、と思ったら登録してみてください。

[前へ↓](#) / [次へ↑](#)

これはCLIPにアニメーション機能がつく前に使われていた遺産です。

まだ使ってるよ！って人もいるので残していますが、現状ではこれより便利な機能がCLIPに搭載されていますので、そちらの使用をオススメします。

ラフ確定(旧バージョン、ラスター、ベクター)

選択しているレイヤーをフォルダの中に入れて、新しいレイヤーを作ってくれます。

β版ではラスターレイヤー仕様で、元のレイヤーを「ラフ」、新しくできたレイヤーを「清書」にするお節介便利機能を搭載していましたが、時代の流れに逆らうことなく今回のメジャーアップデートでシンプルにしました。ラスターベクターは新しく作られるレイヤーのことです。

レイヤー透明度を薄く

デフォルトでレイヤー透明度を40%に変更します。

アクションの中を開いて透明具合をカスタムすることができます。非表示の場合透明度が変わらないのですが、このアクションでは強制的に表示状態にする設定も入っています。

レイヤー透明度を100%に

アクション名そのまま。こちらでも強制的に表示状態にして100%に変更します。

任意のレイヤーカラーの変更

Ctrl+Bで行うレイヤーカラー機能ですが、色がデフォルトの青色になってしまいましたが、このアクションを使用することで一発で任意の色に変更できます。

レイヤーを初期状態に

レイヤーカラー、レイヤーモード、レイヤー透明度の三点を初期状態(レイヤーカラーなし、通常、レイヤー透明度100%)にします。こちらでも非表示であっても強制的に表示して変更します。

レイヤーに貼り付け

デフォルトでコピー＆ペーストを行うとレイヤーが作られてしまいましたが、こちらのアクションを使用すると今選択しているレイヤーにコピーした画像を貼り付けることができます。

せんぷうき オートアクション解説マニュアル

位置情報を破棄して貼り付け

デフォルトでコピー＆ペーストを行うとレイヤーがコピー元と同じ位置に貼られてしまいますが、こちらのアクションを使用すると左上、座標0,0に貼り付けられます。コンテのコピーを貼る時など便利です。

保存しないで閉じる

保存しないで閉じます。BGチェックの時に便利です。

My新規レイヤー、新規ベクターレイヤー

ベクターレイヤーがショートカットで新規作成できないので作りました。

My新規レイヤーは中を開いてラスターorベクター、乗算の有無と下書きレイヤーの有無を選択したものが作られます。ちなみにラスターレイヤーはShift+Ctrl+Nです。(MacではCtrlでなく⌘)

上(下)にあるフォルダに入れる

連打することでキーボードのみを使用してレイヤーをフォルダの中に入れることができます。マウスやタブレットが使えるならShiftキー使った方が早いです。

選択レイヤーをアニメーションフォルダに入れる

開いたけどアニメーションフォルダに入れなきゃいけない時に使えますが、複数レイヤー選択した状態ではアニメーションフォルダに入りませんので、あんまり使えません。

SNPKツールボックス

このアクションはコマンドバーに登録しておくとう便利なんじゃないか、というアクションですがショートカットに登録しても問題無いです。ここにあるアクションはコマンドバー用にアイコンも用意してあります。

選択レイヤーを統合して上に

フォルダを選択してアクションを実行すると、フォルダを結合してレイヤーに変換して上のフォルダ(レイヤー)に移動します。連打することで一気にフォルダをレイヤーに結合できます。エラーが出ても気にせずOKして大丈夫です。間違えて結合しちゃいけないフォルダは結合しないように。

フォルダ合成→(アニメ)

「選択レイヤーを統合して上に」はタイムラインがあるとうまく機能しないので、それを回避したアクションです。効果は同じです。

せんぷうき オートアクション解説マニュアル

薄紙

ちまちまと一つずつレイヤーの透明度を変更するのが面倒な時に、今書いてるレイヤーの下に敷くと薄くなります。デフォルトでは20%程度の濃さになりますが、オートアクション内で調整できます。

です式

LO用紙デフォルトのアニメーションフォルダ「pic」レイヤー「ラフ」を「A(半角)」フォルダと「1(半角)」レイヤーに変更するアクションです。

反転して正規化

読み込み状態ではレイヤー順が逆になってしまう時があるので、それを反転して正規化するアクションですが、CLIPの使用上少々制限があります。一つ目は使用する前に24f/3+0(72フレーム)の新規タイムラインを作成してから使用してください。使用後はそのタイムラインを削除してください(しなくても大丈夫ですが、不要なタイムラインが残ってしまいます)また仕様で72枚までの反転しか出来ません。

カラーのまま透明化(軽量版)

スキャンしたカラー素材(主に原画)の紙部分を透明化するアクションですが、スキャンされた素材によってうまくいかないことが多々あります。使えたらラッキーくらいで考えていてください。
また滅茶苦茶重たいので、クオリティをあまり気にしないでいい場合やスピードが必要な場合は軽量版をどうぞ。

開いてアニメーションフォルダに入れる/読み込み

開くのコマンドが立ち上がり、選択したファイルをアニメーションフォルダに入れてくれます。この後です式を使用すると便利です。読み込みはそのまま他のファイルの読み込みまで行ってくれます。読み込まれたファイルはそのままでは書き込みや変形ができないのでラスライズ化までします。クイックチェック的に使う時はとても便利だと思います。

せんぷうき オートアクション解説マニュアル

大判用紙(200DPI、右/中央)

今回配布されているLOset(200dpi)に対応した自動大判製造アクションです。中央と右の二種類ありますので注意してください。「中央」はセンター上を起点とし、下と左右に用紙を大きくします、「右」は左上の起点とし、下と右のみに用紙を大きくします。

縦長(小)297x257 / 縦長(中)297x297 / 縦長(大)297x420

縦向きはどちらもほぼ挙動は変わりません。

横長(小)364x210 / 横長(中)420x210 / 横長(大)584x210 / B4 364x257 / A3 420x297 / A4 元に戻る

中央と右では挙動が違うので注意してください。揃えて使用しないと元に戻るで、元に戻せなくなります。

また、フレームを移動してしまうと画像が切れてしまうことがあるので作業始める前に使用し、途中でサイズを変更する場合は「編集>キャンパスサイズの変更」を使用してください。

セル番号変更[1>24] / セル名変更[A>Z][ラベル]

レイヤーやフォルダ名を一発で変更するためだけのアクションです。

アニメーションフォルダで使用するもの

A~Z

主にアニメーションフォルダのセル分けのフォルダ名を変更する際に使用します。「せんぷうき」ではコマンドバーへA~Fまでの登録をオススメしています。

lo

原図を入れます。

satsu

カメラワーク以外の撮影指示、スライドやデジタルTU、あたりやフレアなどを入れます。

kumi

クミ線を入れます。

pool

捨てられないが不要なファイルを入れます。

fr

フレームを入れます。PANや画面にかかるTUやTB、画面動などの指示を入れます。

せんぷうき オートアクション解説マニュアル

主にレイヤーで使用するもの

1～24

主にアニメーションフォルダ内にあるレイヤー、セルの番号を変更する際に使用します。「せんぷうき」ではコマンドバーへ1から9までの登録をオススメしています。

_sl、_dtu、_dtb、_rolling、_flicker

スライド、デジタルTUとTB、ローリング、フリッカーなどメモリのレイヤー名です。_satsuに入れます。

_atari

ハリコミ指示のあたりのレイヤー名です。_satsuに入れます。

_flare、_para

フレアやパラのレイヤー名です。_satsuに入れます。

_book(1～9)

Bookのレイヤー名です。

_2Dsozai

2D素材の平面指示のレイヤー名です。

_2Datari

2D素材のハリコミあたりのレイヤー名です。

_3DLO

3DLOを使用する場合、このフォルダ内に3DLOの素材を全て入れます。_loフォルダに入れます。

_PhotoLO

写真LOを使用する場合、このフォルダ内に写真LOの素材を全て入れます。_loフォルダに入れます。

せんぷうき オートアクション解説マニュアル

ラスター修正用紙(ラベル)

既存の作画されたレイヤーを修正用紙に変換するアクションです。

せんぷうきではレイヤーの判別はレイヤーラベルの色で行っており、修正用紙の下地に色をつけません。ですがやはり判別しづらいという声があったので、外縁に5mmほど半透明色を入れることにしました。これはあくまで画像なので消しゴムなどで消えるようなものです。ちなみに消えない修正用紙を再現しようとするレイヤー数が膨大になる、という理由でやめてます。操作も煩雑になるしレイヤー見づらいし、そもそも下色あると透けづらいし。またアクションが重すぎるという理由でベクターレイヤーのアクションは作成してません。新規用紙作成は可能になってますので興味ある方はそちらを解析してみてください。

ラベルさくら、ピンク、柿色、レモン、クリーム、若草、あさぎ、あじさい

実際ある修正用紙を模した色になります。

ラベルD赤色、D橙色、D黄色、D緑色、D青色、D紫色

デフォルトでレイヤーウィンドウ左上のラベル欄にある6色になります。

レイヤーカラーの変更 / レイヤーモード変更 / レイヤー透明度

レイヤカラー、レイヤーモード、レイヤー透明度を変更するアクションです。

レイヤーカラーの色はsnpk色鉛筆のものが入っています。

この機能はかなり便利、特に特定(好み)のレイヤーカラーとレイヤー透明度を使い分けることでアニメで最も作業時間の長いトレス作業を瞬間で行えるようになります。キーボードショートカットやテンキー、G13などの左手デバイスか、もしWacom製タブレットを使用しているのであれば、オンスクリーンコントロールに登録して使用することを強くオススメします。

本当に作業速くなります。

せんぷうき オートアクション解説マニュアル

新規用紙作成(ラスター / ベクター)

名前のついた新規レイヤーを作成するアクションです。でもそれだけじゃつまらないな.....ということで名前以外にも種類ごとに特性を持たせています。なおアクション名の頭のnlrとnlvはNewLayerRasterとNewLayerVectorの略で、コマンドバーに登録する際に見分ける時便利です。

ラフ / 清書 / 影つけ

このアクションは上記の通りにレイヤー名を変更してレイヤーを新規作成します。

下書き / (透明)

レイヤー名を「下書き」にして、レイヤーカラーと下書きレイヤーの機能をONにします。「(透明)」はレイヤーカラーの代わりにレイヤー透明度を40%にします。お好みの方を使用してください。下書きレイヤーになると出力時に消すか消さないか、選ぶことができます。

線画

レイヤー名を「線画」にして、グレーレイヤー(黒のみ)に変換します。このレイヤーでは何色のペンでも全てグレーになります。レイヤーが軽くなります。色をつけたい場合はレイヤーカラーを使用します。

塗り

レイヤー名を「塗り」にして、レイヤーモードを乗算、レイヤー透明度を50%にします。レイヤーがどの位置にあっても影部分などを塗っても線が消えません。

_sl、_dtu、_dtb、_rolling、_flicker

SL、DTU、DTB、ローリング、フリッカーになります。レイヤー名はアクション名と同じです。全てグレーレイヤーで、フリッカー以外は赤色のレイヤーカラーがONになります。

_atari、_flare、_para、_book

あたり、フレア、パラ、Bookになります。レイヤー名はアクション名と同じです。これは名前だけが変更されますので、色ペンでの作業が可能です。

修正用紙(赤、橙、黄、緑、青、紫)

レイヤー名を「修正用紙(任意色名)」して、キャンバスの四辺に5mmの修正用紙色が塗られます。それは修正用紙ラベルと同様です。ベクターレイヤーは仕様でレイヤーが出来上がるまで時間がかかります(出来上がってから重いことはありません)

新規色トレスレイヤー(ラスター / ベクター)

グレーレイヤーをレイヤーカラーで各色に変更した新規レイヤーを作成します。このレイヤーは色を変えるのではなく、レイヤーを変えることで実線と色トレスを表現する際に便利に使用できます。

赤色(Hi) / 水色(影) / 黄緑色(色T)

業界でもよく使う三色なのでショートカットか、コマンドバーに登録することをオススメします。色はsnpk色鉛筆と同じになります。

橙色 / 黄色 / 緑色 / 青色 / 紫色 / 鉛色 / グレー / 桃色 / 肌色 / 茶色

snpk色鉛筆と同じ色になります。

R / G / B / C / M / Y

原色の6色です。仮色などで使用？ 原画で使うことはないと思います。

色トレスレイヤーをやめる

レイヤーカラーをOFFにした場合はどのレイヤーもグレーレイヤーなので、グレーになりますが、色トレスレイヤーをやめると、現在の色のままカラーレイヤーに変換します。

コピー濃度(ベータ機能)

薄1<2<3>4>5濃

このアクションを使用するとコピー機にかけたみたいに濃くはっきりします。1が一番薄めで、5が一番濃いです。スキャン状態によっては綺麗に出力されないかも知れません。

テンキーショートカット(ベータ機能)

Num1～9

このアクションは自己登録型のアクションです。何を言ってるか以下略だと思いますが騙されたと思ってテンキーをこのアクションに登録してください。それから使いたい操作を一つの動作であっても、ここに登録すればその場でテンキーが左手デバイスに早変わりです。他のアクションからコピーしてきて貼り付けてもOKですし、中を開いてチェックボックスを利用すれば時々で違う機能を使うことも出来ます。

画像加工 / 画像取り込み(ベータ機能)

ボタンモードで使用することを想定したアクションです。

なので1工程で済むような簡単なものも、操作がまとまるという考え方から登録しています。

主に制作業務や、作画でも作業前の下準備などで使用することを想定しています。
